

## 令和4年度 第2回 学校運営協議会 会議録（要点記録）

1. 開催日時 令和4年9月16日（金） 14時30分から16時30分まで
2. 開催場所 浜松市立浜北北部中学校 特別活動室
3. 出席委員 池谷真也 和田安彦 矢野陵子 室内恵理香
4. 欠席委員 山本忠雄
5. 学校支援コーディネーター（委員外） 岡本 奈緒
6. 学 校 影山ちか（校長） 鈴木健（教頭） 石島正巳（CS担当教職員）  
岡本奈緒（CSディレクター）
7. 教育委員会 堀田洋一（教育総務課）
8. 傍聴者 なし
9. 協議事項
  - (1) 議長の選出について
  - (2) 校内環境・合唱コンクール練習参観について意見交換
  - (3) 現在の学校支援活動について
    - ① 学校環境整備（園芸部との関わり）
    - ② 職場体験学習
    - ③ アルミ缶回収ボランティア
  - (4) 今後の学校行事について
  - (5) 連絡、教育総務課より
10. 会議録作成者 CSディレクター 岡本奈緒
11. 会議記録

司会の教頭より、委員総数5人のうち4人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

### (1) 議長の選出について

司会の教頭より、本日、会長の欠席により議長を副会長にお願いしたい旨、伝える。協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

※合唱コンクール練習参観まで時間調整のため、協議事項（5）を先に進める。

### (5) 連絡事項、教育総務課より

教育総務課より、学校運営協議会の自己評価について説明。

続いて、教頭より「さくら連絡網」登録について説明。

### (2) 校内環境・合唱コンクール練習参観について意見交換

学校職員から説明を受けながら、各学年の合唱練習を参観、発達支援教室、図書室、あおぞら教室等の校内視察。終了後、委員より以下の発言があった。

矢野委員：合唱コンクールまで時間があるのでまだ本気モードになっていないのかなと思う。それでも一生懸命やっていた。やはり、3年生はまとまって見えた。楽しく見させてもらった。

室内委員：校内に入ることによって分かることがあり、施設面でも先生からの説明を受け、何か協力できることがあれば熟議に生かされると思う。また参観したい。

和田委員：テレビ画面を見て練習するなど、特に設備面では自分が学生の時と比べると大きく変わったと感じる。さらに、自分たちの時代は擦れて格好つけてやらない人がいたが、皆まとまって声を出している姿を見て、一生懸命やる子たちだなという印象を受けた。また、随所で展示物などがたくさんあり、カバーを張ってあり、気を使っているなど感じた。やはり、子どもたちは書いたものや作ったものが展示されると恥ずかしいけどきつと嬉しいのではないかなと思う。いろいろな見せ方があるが、良いと思った。

池谷副会長：合唱コンクールが迫っている中で本番まで音楽の授業が2回しかない、と言っている子がいた。3年生は流石だなと思った。変な言い方だが、合唱をまともにできる学校はいい学校、いいクラス。言い換えると学校全体も落ち着いていると思う。北部中も落ち着いて取り組んでいることを肌で感じる事ができた。施設面では、この学校規模での図書室自体の広さ、本の冊数はなんとかならないのか、と図書室を見るたびに思う。

教頭：合唱の練習風景を見てもらえて良かった。子どもたちは素直で可愛いと思わせる。だが地域の人たちからは中学生は怖いと思われがち。注意すると仕返しされるのでは？と。実際そんなことは全くない。声をかければ素直に聞く子がほとんどだ。コロナ禍で地域に出る機会が少ないせいか、どんどんお互いが知らない世界になりつつある。その架け橋をこの運営協議会でやっていただけるとありがたいと思う。

### (3) 現在の学校支援活動について

#### ①学校環境整備（園芸部との関わり）

これまでの活動について、学校支援コーディネーターより報告。

室内：たくさん集まりすぎると收拾がつかなくなることを想定し、日が設けられた中で言いやすい人、頼めそうな人にピンポイントで声をかけた。だが、そういう方はすでにいろいろな所でやっている。何軒か声をかけたが断られてしまった。ボランティア募集をしているのを知らなかったという方もいた。学校のHPまではなかなか見ない方ばかり。回覧等、発信の仕方を変えたら広がるのではと思う。

岡本：初めての募集ということで、どんな反応があるのか等、お試的に夏休みの園芸部の活動日3日間に絞ってCSだよりを作成し、期間限定で募集をかけてみたが、今回ご都合が合う方はいなかった。今後は、募集の幅を広げて通年で募集していきたい。その動き方についてこの場でいろいろな意見をいただきたい。

校長：本当は、近くの方が徒歩や自転車でふらっと来て草を取ってくれるのが理想。車で来ていただくボランティアでは駐車場の問題も出てきてしまう。春になると抜け道になっている校内を散歩する人や、北斗わかば病院の人が桜を見に来ることもある。子どもたちもわきまえていて、挨拶している。そんな感じで来て欲しい。園芸部は発達の子どもたちが多く在籍している。土いじりが好きな子、コミュニケーションが苦手な子もいる。一緒に話をしながらやれるといいなと思う。

石島：不特定多数の募集は少し抵抗がある。もう少しピンポイントで声掛けをしてはどうか？知り合いの方から声をかけて広めていった方がいいのでは。

矢野：今回は、PTAは動かなくてもいい、という話だった。この先の半年間の中で声をかけてよいのであれば、理事から口コミを広げてもらい、そのお手伝いを理事に担ってもらっても可能ではないか。

教頭：ボランティアとして来てもらうには、子どもと一緒に活動することで双方に何かメリットがあるとよいのではないか。子どもたちの祖父母に声をかけて募集してはどうか。

校長：ここはあまり地域の人が入ってきていないと感じる。もっと子どもたちを見てほしい。子どもたちと話をしてほしい。知り合いの身内の人から声掛けを始まればいいのか、と思う。

石島：PTAの方で声をかけていただけるなら、一緒に動いていきたい。

矢野：学校を開かれた環境にする反面、防犯上はどうなのか。

教頭：職員には、校内に入ってきた方には必ず声をかけることで抑止力になるよう指導している。どんどん地域の方には入ってきてもらって構わない。

校長：職員への防犯意識はもたせるようにしなければと思う。

矢野：園芸部の活動日に合わせてやるということではどうか。その場合、事前に学校に連絡は必要か。

石島：来ていただいた方に受付で札を渡して、ボランティアだと分かるような体制をと考えている。

(3) 現在の学校支援活動について

②職場体験について

これまでの活動について、学校支援コーディネーターより報告。

岡本 : 慌ただししいスタートの中、委員の皆さんにご協力いただき 40 カ所ほどのリストを先生方に提供した。その中から職業ジャンルのバランスを見て頂き、20 カ所ほど選んでもらい、受け入れ願いの電話をした。結果、受け入れ可能となり新規開拓箇所として 8 カ所お手伝いすることができた。当日その 8 か所へ 34 名が職場体験できた。

校長 : 今年職場体験が開催できた。だが、地域外のところへいくつか行っている。来年以降は、できれば校区内で完結できれば子供たちの様子も分かっていたのではないかと。また、今後、ボランティアに来ていただいた方に紹介していただけることもあるだろう。

(3) 現在の学校支援活動について

③アルミ缶回収ボランティア

議長の指示により、校長より 9 月のアルミ缶回収状況について説明。委員からは以下の発言があった。

校長 : 生徒会活動として、子どもたちが一生懸命になってくれる反面、ご家庭によってはエコ意識からアルミ缶を買わないから無い、しかしクラスで持参を促される。強制ではないことを伝える必要がある。今回も PTA 会長がトラックを出して下さり、運ぶことができた。地域の方からアルミ缶回収はやっていないのか？と質問を受け、廃品回収がなくなり、生徒会活動とコンテナで対応していると回答した。子どもたちが地域の人に声をかけながら回収できるような関わりが持てるかと思っている。

矢野委員 : 以前は、地域の回覧板に回収日の案内があったが今はなくなってしまった。

校長 : PTA 会費がなくなったので、心配の声はある。基本的には、受益者負担だが、全国や東海大会出場の際は、市からの負担金とアルミ缶回収等の収益金で賄っている。

校長 : 委員のみなさんは、ご自宅のアルミ缶はどうしていますか？

室内委員 : 地区の公民館に出している。

和田委員 : 商業施設のリサイクルに出している。

校長 : 地域の家から登校する子どもたちに渡してもらい、近所の人に子どもたちが回収に行く等、負担なくうまく回収できる方法はないか。

和田委員 : 昔のように PTA 活動として年間スケジュールで把握できたが、やはり回収日の事前連絡がないと突然回収に来られても困るだろう。ある程度日を決めてアナウンスすれば、家の前を出しておいてもらえば子どもたちが回収するスタイルが以前はあった。

校長 : そうなるとどこかに負担がかかってしまう。理想は、子どもたちが持ち寄る時に近所の方に声をかける関わりからいくようになるのが理想。

矢野委員 : この地域は回覧文化がある。そこに回収日、回収方法を載せてはどうか？

各地区に荷物運び番が配置されている。枚数分を学校が用意して子どもが自治会長に持っていき、各会で班長会が決まっているので、そこに間に合うように持っていけば自治会長の負担も少ないだろう。

池谷副会長 : 告知の仕方はいろいろある。

矢野委員 : この地域は決められた日に子どもが集めます、と分かるような案内周知は必要だと思う。まだ今の回収金では予算不足ではないか。

池谷副会長 : まだ、市からの助成金に大きく頼らざるを得ないだろう。

(4) 今後の学校行事について

石島 : 10 月 5 日に合唱コンクール、10 月 27 日は体育祭がある。

今回、合唱コンクールでは多くの PTA の方のお力をお借りしている。今後、委員の皆さまにもご協力いただくことがあればお願いしたい。

司会より、次回の学校運営協議会は、12 月 13 日(火)14 時から特別活動室で開催する旨の報告があった。